

内水ハザードマップ[®]

備え

防ぎ

守る

川崎市では、時間雨量52~58mmに対応した下水道の整備をしていますが、能力を超える大雨や河川の水位が高い時等に、下水道や水路等から水があふれることがあります。

内水ハザードマップは、水があふれた時の避難に活用していただくため、あふれる水の範囲や深さ、備え方、防ぎ方、避難方法等の情報をまとめたものです。

想定条件
1時間に153mmの想定最大規模降雨が河川や海の水位がとても高い時に降った場合

堤防からの越流や、堤防が決壊して河川が氾濫した場合を想定した「洪水ハザードマップ」も公表しています。本ハザードマップとは浸水深や浸水範囲が大きく異なりますので、あわせてご確認ください。

令和4年8月版

水害発生のメカニズム



『内水氾濫』とは、下水道等の排水施設の能力を超えた雨が降った時や、雨水の排水先の河川の水位が高くなつた時等に、雨水が排水できなくなり浸水する現象です。下水道や水路等から雨水があふれだし、浸水被害が発生します。

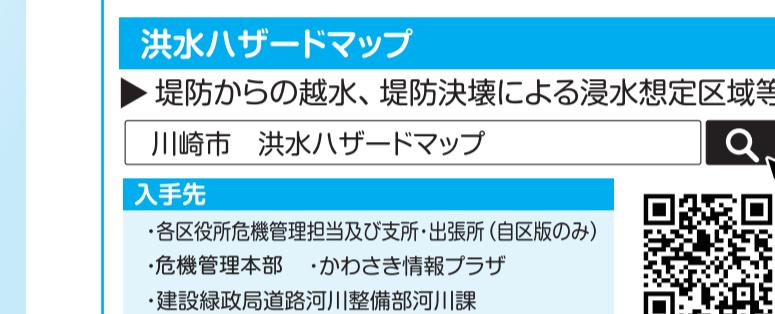


『洪水(外水氾濫)』とは、大雨によって河川の水位が高くなつた時、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりする現象です。決壊した場所から勢いよく水が流れ出し、家屋の倒壊や流出等の大きな被害が発生することがあります。

その他のハザードマップ

洪水、土砂災害、津波のハザードマップ、過去10年間の浸水実績図もありますので、内水ハザードマップとあわせて自宅の災害リスクを確認しましょう。

また、お住まいの住環境に応じた、適切な避難プラン「マイタイムライン」を作成することも有用です。

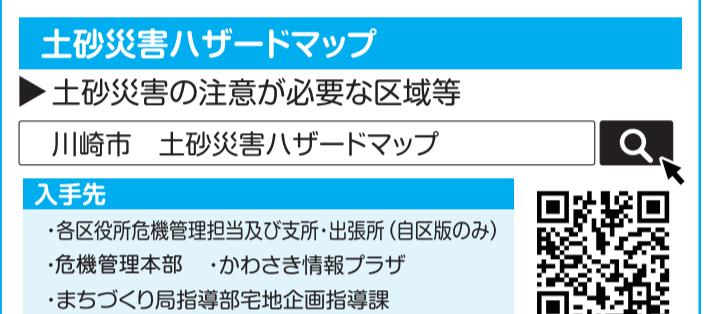


▶ 堤防からの越水、堤防決壊による浸水想定区域等

川崎市 洪水ハザードマップ

入手先

- ・各区役所危機管理担当及び支所・出張所(自区版のみ)
- ・危機管理本部・かわさき情報プラザ
- ・建設総局道路河川整備部河川課

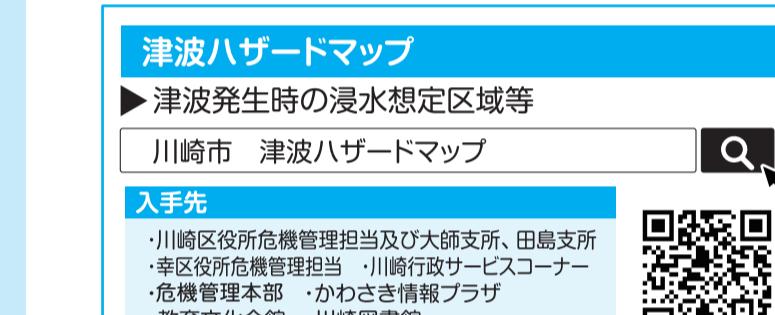


▶ 土砂災害の注意が必要な区域等

川崎市 土砂災害ハザードマップ

入手先

- ・各区役所危機管理担当及び支所・出張所(自区版のみ)
- ・危機管理本部・かわさき情報プラザ
- ・まちづくり局指導部宅地企画指導課

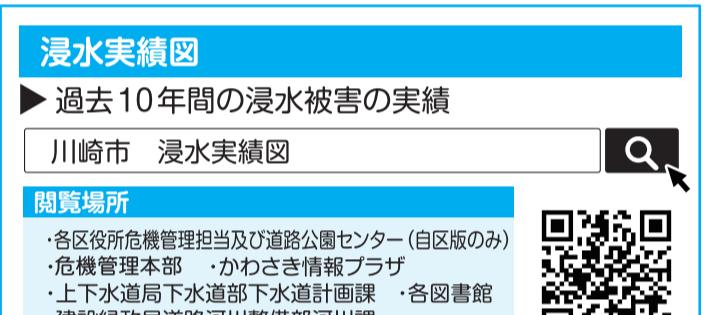


▶ 津波発生時の浸水想定区域等

川崎市 津波ハザードマップ

入手先

- ・各区役所危機管理担当及び大師支所、田島支所
- ・幸区役所危機管理担当・川崎行政サービスセンター
- ・危機管理本部・かわさき情報プラザ
- ・上下水道局下水道部下水道計画課
- ・教育文化会館・川崎図書館



▶ 過去10年間の浸水被害の実績

川崎市 浸水実績図

閲覧場所

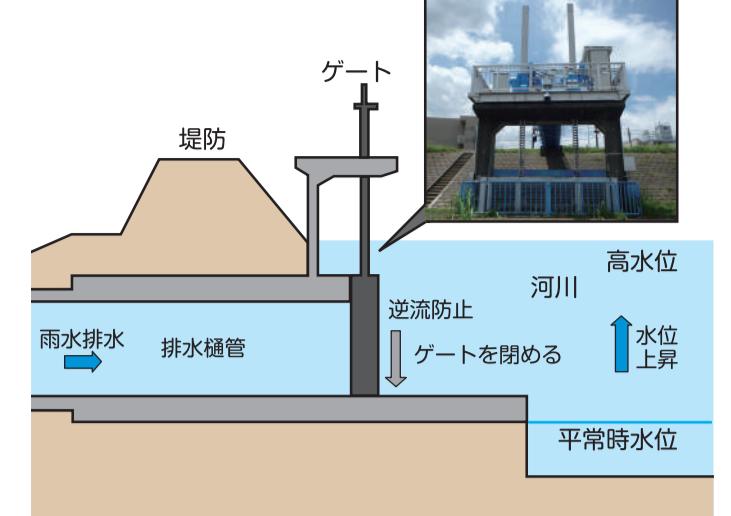
- ・各区役所危機管理担当及び道路公団センター(自区版のみ)
- ・危機管理本部・かわさき情報プラザ
- ・上下水道局下水道部下水道計画課
- ・建設総局道路河川整備部河川課
- ・教育文化会館・川崎図書館

※ガイドマップかわさきでも、ハザードマップ等の情報を確認することができます。

雨の強さと降り方の目安

屋外の様子	雨の様子	
猛烈な雨	・水しぶきであたり一面、白っぽくなり視界が悪くなる ・マンホールから水が噴出する	・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる 1時間に80mm以上の雨
非常に激しい雨		・ゴーゴーと滝のようになる ・傘は全く役に立たなくなる
激しい雨	・道路が川のようになる	・バケツをひっくり返したように降る ・傘をさしていてもぬれる 1時間に30~50mmの雨
強い雨	・一面に水たまりができる ・側溝から雨水があふれ始める	・どしゃ降り ・傘をさしていてもぬれる 1時間に20~30mmの雨
やや強い雨	・一面に水たまりができる	・ザーバーと降る ・跳ね返りで足元がぬれる 1時間に10~20mmの雨

排水樋管とは?



「排水樋管」は下水道から河川に雨水を排水する箇所に設けられる施設です。排水樋管のゲート操作により洪水、高潮及び津波による逆流を防止します。

川崎市上下水道局排水樋管情報
▶ 排水樋管(山王・宮内・鶴見・二子・宇奈根)の水位、ゲートの開閉状況等を確認することができます。また、メールニュースかわさきに登録すると情報が配信されます。

川崎市 排水樋管 水位計



防災情報収集ツール

川崎市防災情報ポータルサイト
▶ 市内の災害や被災情報、避難情報等を掲載するほか、平常時にも役立つ情報を掲載しています。

川崎市 防災情報ポータルサイト

QRコード

川崎市水位計・河川監視カメラ
▶ 川崎市内の河川に設置されている水位計及び河川監視カメラについて確認することができます。

川崎市 水位計 河川監視カメラ

QRコード

川崎市防災気象情報
▶ 気象庁から発表される大雨・洪水警報の状況や雨量水位等を確認することができます。

川崎市 防災情報

QRコード

かわさき防災アプリ
▶ 災害時の緊急情報や避難情報等をプッシュ通知で受けられるほか、最寄の避難所の案内や気象情報の表示、各種ハザードマップを見るることができます。

QRコード

QRコード

危機管理本部 Twitter
▶ 川崎市の防災に関する情報をツイートします。ご利用を希望する方はアカウント@kawasaki_bousaiをフォローしてください。

危機管理本部 Twitter

QRコード

川崎市LINE公式アカウント
▶ 災害時には、市民の皆様に重要な情報をご案内します。ご利用を希望する方は@kawasaki_bousaiを友達登録してください。

LINE@ 川崎市 LINE公式アカウント

QRコード

※災害時はテレビやラジオ、防災放送により防災情報を得ることができます。

テレビ(テレビ神奈川(3ch)・YOUテレビ・ITSCOM) ラジオ(かわさきFM(79.1MHz))

我が家の防災メモ

お問い合わせ先

内水ハザードマップに関すること	上下水道局下水道部下水道計画課	044-200-0104
避難に関すること	危機管理本部	044-200-3682
川崎区役所危機管理担当	川崎区役所危機管理担当	044-201-3327
道路・水路・側溝に関すること	川崎区役所道路公園センター	044-244-3206
下水道に関すること	上下水道局南部下水道事務所	044-344-4866
	上下水道お客様センター(受付業務受託会社)	0120-014-734
洪水ハザードマップに関すること	建設総局道路河川整備部河川課	044-200-2902
土砂災害ハザードマップに関すること	まちづくり局指導部宅地企画指導課	044-200-3035
緊急連絡先	警察署	110
	消防署	119

もしもの時の連絡方法

災害用伝言ダイヤル 171 や災害用伝言板は、災害時の安否確認に有効な方法です。

「災害用伝言板ダイヤル 171」の活用

伝言の録音方法▶ 171にダイヤルする▶ 録音の場合1▶ (ガイダンスが流れます)
電話番号は市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法▶ 171にダイヤルする▶ 再生の場合2▶ (ガイダンスが流れます)
電話番号は市外局番からダイヤルしてください。

「災害用伝言板」の活用

各社の災害用伝言板サイト

NTTドコモ▶ QRコード
au▶ QRコード
ソフトバンク▶ QRコード

家族の連絡先

名前	電話	住所	メモ
最寄りの避難所			
●メモ			

日ごろからの備え

避難場所の確認



いざという時に適切な行動を取り、自分の大切な家族の命や生活を守るために、自分のまち(自宅や勤務地等)のハザードマップを確認し、浸水の危険性や、避難場所を確認しましょう(垂直避難のためのご自宅の上階、最寄りの2階以上の建物等高所)。

また、洪水や土砂災害等のリスクにも備えるため、「いつ」「だれが」「どのように」避難するかをまとめておくマイタイムラインを作成しましょう。

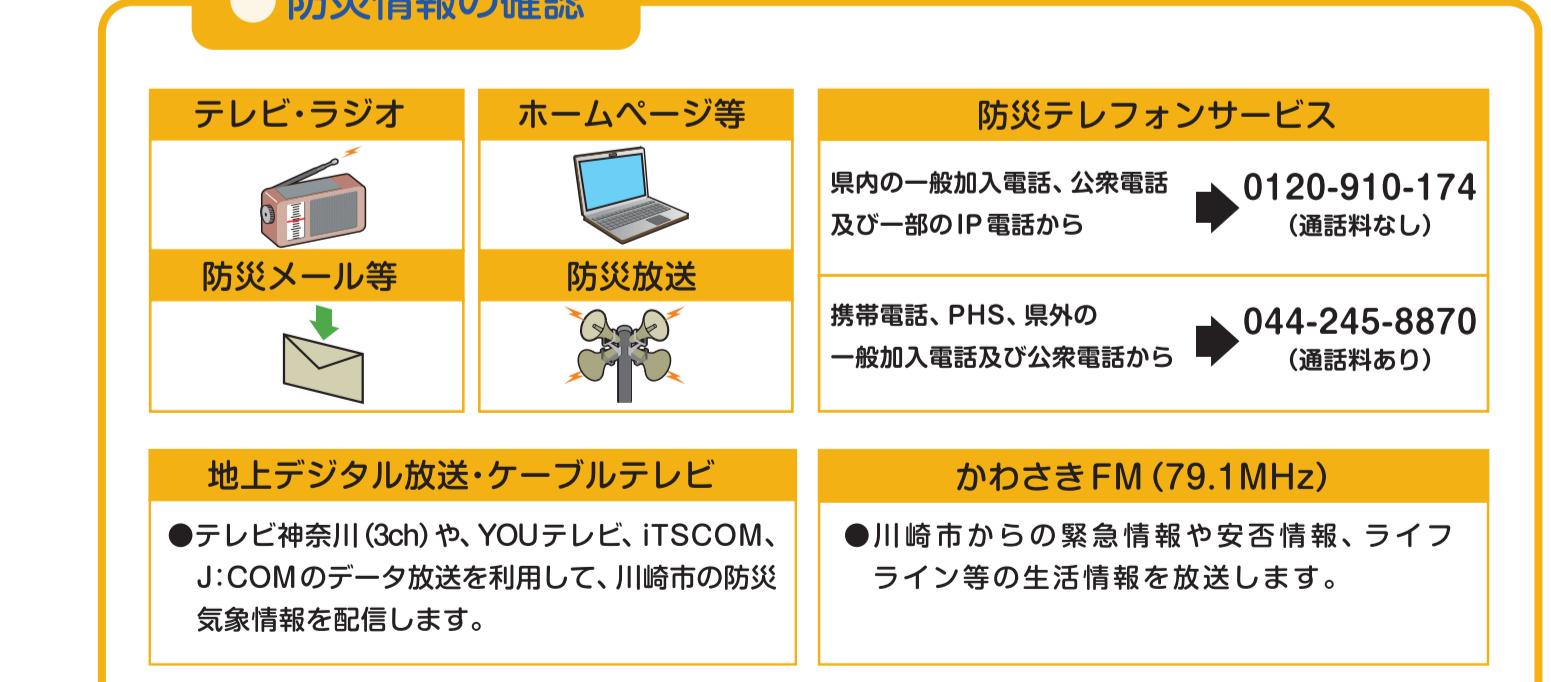
マイタイムライン

川崎市 マイタイムライン

QRコード

マイタイムラインは、あくまで目安の行動です。
実際の災害時は避難情報や気象情報をこまめに確認し、状況に合わせて柔軟に行動するようにしましょう。

防災情報の確認



テレビ・ラジオ
ホームページ等
防災メール等
防災放送
地上デジタル放送・ケーブルテレビ
携帯電話、PHS、県外の一般加入電話及び公衆電話から

防災テレホンサービス
県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話から
0120-910-174 (通話料なし)

かわさきFM(79.1MHz)
●川崎市からの緊急情報や安否情報、ライフライン等の生活情報を配信します。

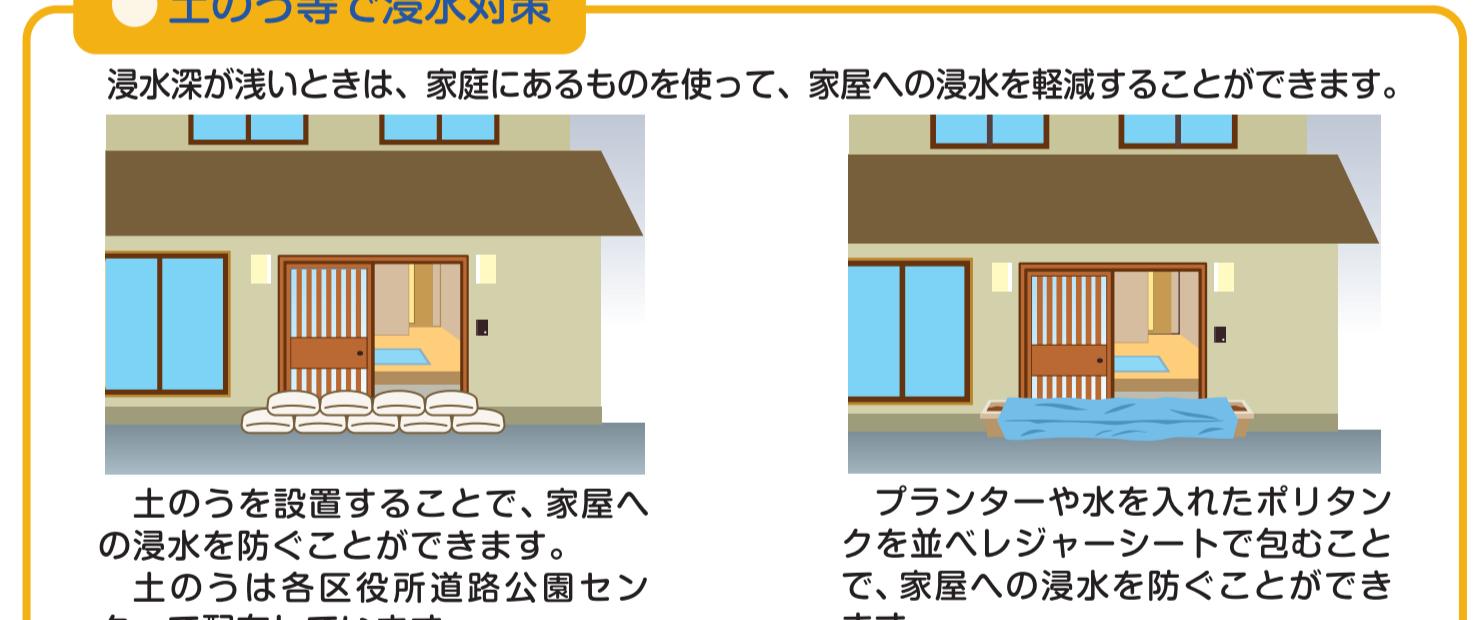
災害時にはテレビ・ラジオ・ホームページ、防災メール、防災テレホンサービス等により、自ら防災情報を入手する心掛けが必要です。事前に「メールニュースかわさき」への登録や、「かわさき防災アプリ」をダウンロードする等、災害に備えましょう。

また、次のような状況では、情報が伝わりにくくなります。自宅周辺の異変を感じたり、防災行政無線のサイレンが鳴った場合等には防災情報を確認しましょう。

①テレビ・ラジオをつけていない ③戸戸を締め切って寝ている
②停電中である

浸水被害を防ぐためには

土のう等で浸水対策



漫水深が浅いときは、家庭にあるものを使って、家屋への浸水を軽減することができます。



土のうを設置することで、家屋への浸水を防ぐことができます。

土のうは各区役所道路公園センターで配布しています。



プランターや水を入れたポリタンクを並べレジャーシートで包むことで、家屋への浸水を防ぐことができます。

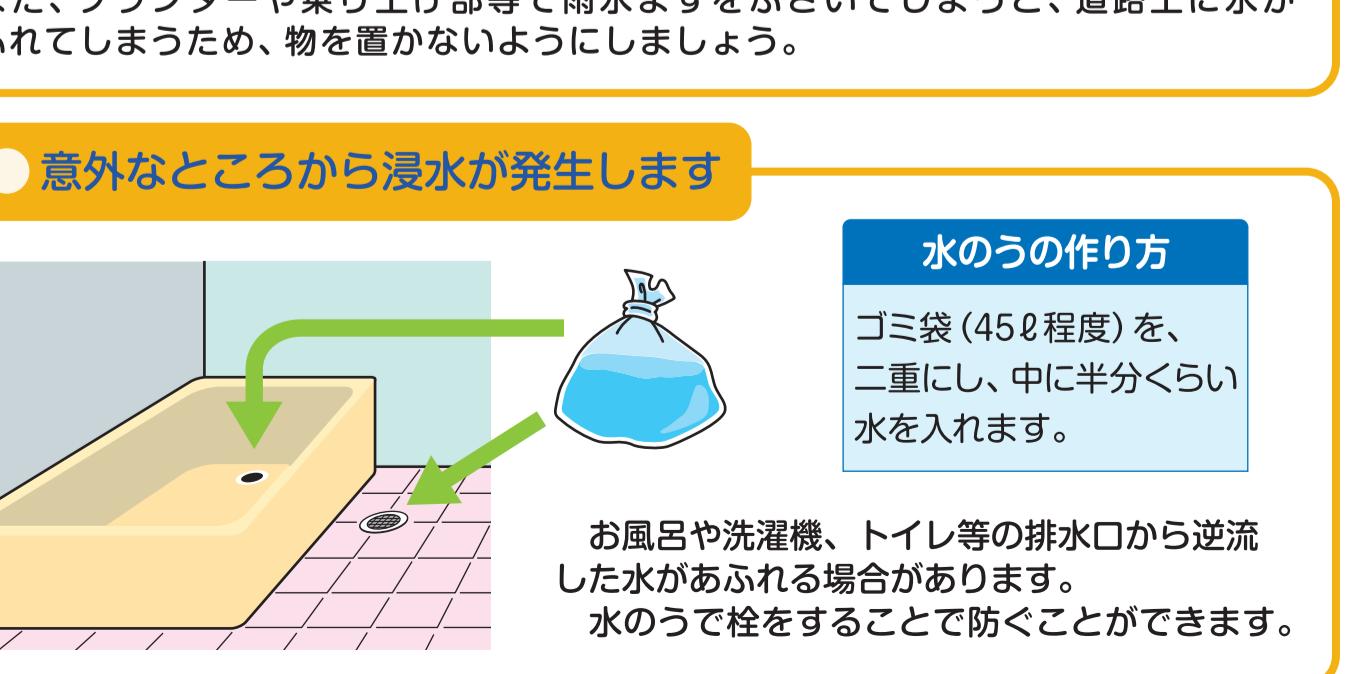
側溝や雨水ますの取水口の確認



側溝や雨水ますから雨水を集めています。ごみや落ち葉等が詰まるときが流れにくくなります。

また、プランターや乗り上げ部等で雨水ますをふさいでしまうと、道路上に水があふれてしまうため、物を置かないようにしましょう。

意外なところから浸水が発生します



ゴミ袋(45L程度)を、二重にし、中に半分くらい水を入れます。

お風呂や洗濯